※令和４年度以降入学生用

学校番号	2102

令和５年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	体育ｉ（併修）	単位数	２単位	年次	全年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・各種目の中で、自己の能力に応じて基礎・基本的な運動技能・体力や筋力を高めよう。
・心身の健全な育成をはかり、スポーツの楽しさ、身体活動の爽快さを感じよう。
・ルールを遵守する姿勢や礼儀を学び、習得しよう。

２　学習の到達目標

健康・安全に留意して主体的に運動に取り組む態度を育て、運動の合理的、計画的な実践を通して運動を習慣化する。また、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を運動場面だけでなく日常生活で生かせるよう、ライフステージと健康について知識や理解を深めるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り適切に判断する能力を養う。

（１）課題解決の方法や競技会の仕方を理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるようにする。

（２）チームや自己の課題を考え、適切な課題解決の方法について判断し、他者と共有しながら練習や試合に取り組む能力を養い、運動の合理的、計画的な実践を通して、運動を習慣化できるようにする。

（３）フェアなプレイを大切にしようとすること、合意形成に貢献しようとすること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとするなど、互いに助け合い高めあいながら健康・安全を確保し、各種目に主体的に取り組む態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	記録や技能向上に挑戦する。運動の合理的な実践を通して、種目特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現するための各領域の運動特性に応じた段階的な技能を身につける。仲間と連携・協力して各種目を楽しむ。	知識を活用し、技能向上につなげる。自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取組を工夫できる。運動を継続したり、体力や技能向上をするための計画を考えたりすることができる。学習で得た成果を自ら応用・発展させ、生活に生かせる。	自ら進んで運動の楽しさや喜びを味わおうとする。 健康や安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。 結果や勝敗を受け入れ、自他の技能を客観的に判断できる。公正・協力・責任・参画などの態度を身につける。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前後期前半	球技	オリエンテーション 体育理論 バスケットボール	a:運動技能。安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きをしようとしている。 b:自己に適した関わり方を見付けている。課題を発見しようとしている。 c:フェアなプレイを大切にしようとしている。健康や安全の確保をしている。	レポート 小テスト 受講態度の観察 技能観察 レポート	レポート 小テスト 受講態度の観察 技能観察 レポート	受講態度の観察 レポート
前後期後半	体つくり運動	体ほぐしの運動 体力を高める	a:安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きをおこなうためにルールを理解し実践で生かすことができる能力をつけられる。合理的な体の動かし方を理解し、実生活に生かすことができる。 b:自己の課題に応じて運動の取り組み方を工夫している。 c:自他の違いの気づきと配慮。健康・安全の確保をしている	受講態度の観察 技能観察 レポート	受講態度の観察 技能観察 レポート	受講態度の観察 技能観察 レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度